

教科等横断的な視点を取り入れた授業実践

社会科 第2学年

《教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成》

1 学習の基盤となる資質・能力の育成について

・情報活用能力の育成

本実践では、「関東地方の旅行計画」や実社会につながる新たな問いを追究する際の探究的な学習の過程において、コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切かつ効果的に活用していく。特に情報活用の実践力を重視し、まとめ・表現の学習過程で、分かったことや考えたことを分かりやすく伝える力の育成を目指す。

・問題発見・解決能力の育成

本実践では、関東地方について、単元のまとまりを見通して学習課題を設定し、諸資料を通して調べたり、思考・判断・表現したりしながら、社会的事象の特色や意味などを理解し、社会への関心を高める。また、生徒に社会的事象等を自分事として捉えさせ、諸課題の解決に向けて思考させる。その過程として、単元ごとの振り返りシートを活用し、繰り返し自己評価をさせていく中で、学びに向かう力を育てていく。そして、単元のまとめを踏まえた上で実社会につながる新たな問いを設定し、解決に必要な力を身に付けられるようにする。

2 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成について

・主権者として求められる力

主権者教育の目的は「単に政治の仕組みについて必要な知識を習得させるにとどまらず、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付けさせること」としている。

本実践では、「社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力」を育成するために、社会科と総合的な学習の時間を関連させて、「家族が帰宅難民になった際、どのようなことが想定され、どのように行動すればよいか」等の自ら考え、判断し、行動していけるような課題を設定する。また、ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度の1つである、つながりを尊重する態度を育む。具体的な手段としては、関東地方の学習を振り返り、各自が実社会につながる新たな問いを設定する際に、SDGsの目標との関連や人・もの・こと・社会・自然とのつながり・かかわりを意識させ、それらを尊重し大切にしようとする態度を身に付けられるようにする。

1 単元名「日本の諸地域」
「(小単元名) 関東地方」

2 単元の目標

- 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解する。
〈知識及び技能〉
- 交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこに生ずる課題を理解する。 〈知識及び技能〉
- 関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。
〈思考力、判断力、表現力等〉
- 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

3 教科等横断的な視点を取り入れた授業実践について

(1) 単元で育てたい力

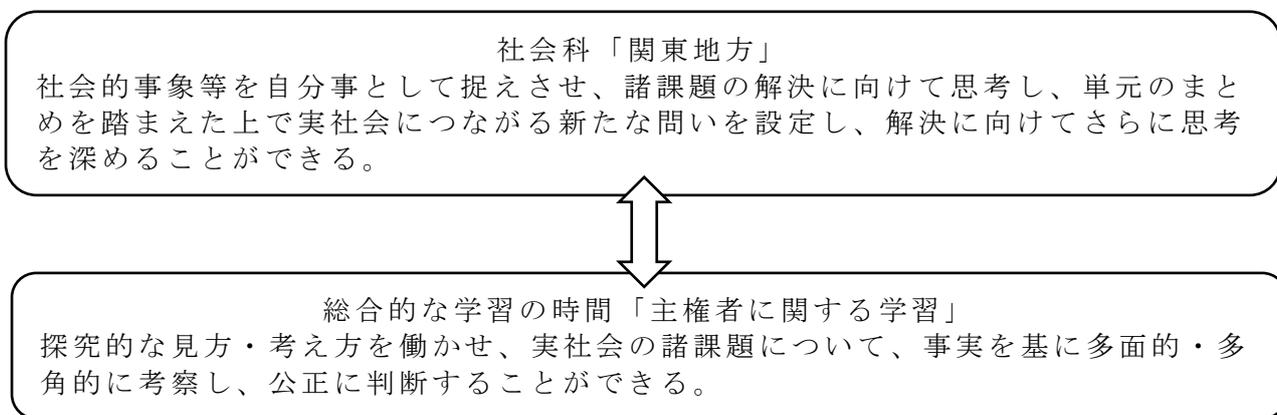
- 社会的事象等を自分事として捉え、諸課題の解決に向けて思考することができる。
【社会：問題発見・解決能力】

(2) 教科等横断的な視点に立った育てたい力

- 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。
【総合的な学習の時間：情報活用能力】

(3) 共通の育てたい力

- 見方・考え方を働かせ、学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用することなど、諸課題を追究・解決することができる。
【共通：問題発見・解決能力】



(4) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</p> <p>② 交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</p>	<p>① 関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>① 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>

4 指導計画

時	学 習 活 動 ★教科等横断的な学習活動	備考 ★教科等横断的な学習 ◎記録に残す評価 □学習状況の確認
総 1	<p>★SDGs について探究する活動を通して、自分たちを取り巻く環境や社会について深く考える。【総合的な学習の時間】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">関東地方 1泊2日旅行計画を作ろう！</p> <p>○個人で関東地方の魅力を追究する。 【見いだす】【自分で取り組む】</p> <p>○関東地方について追究したことを全体に発表する。【広げ深める】</p> <p>○個人の発表を聞いて、学習について振り返り、まとめる。【まとめあげる】</p>	<p>★関東地方の情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p style="text-align: center;">【情報活用能力】</p> <p>★SDGs について探究し、関東地方についての魅力を追究している。</p> <p style="text-align: center;">【問題発見・解決能力】</p>
1	<p>○アンケートをもとに、関東地方について知っていることを共有する。【見いだす】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">関東地方を大きくながめると、どのような特色が見られるのだろうか。</p> <p>○関東地方の地形と気候、人口と産業について調べる。【自分で取り組む】</p> <p>○日本の各地方の「面積」「人口」「産業」のグラフを参考に、関東地方の地域的特色を考える。【広げ深める】</p> <p>○振り返りシートを記入する。 【まとめあげる】</p>	<p>◎知識・技能①【記述分析】</p> <p>・関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</p>

2	<p>○教員・生徒の海外旅行の経験から、海外への渡航手段について問う。【見いだす】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>成田や東京には世界各地とどのような結び付きが見られるのだろうか。</p> </div> <p>○資料をもとに、成田空港の交通網について読み取る。【自分で取り組む】</p> <p>○東京にさまざまな機能が集中していることを捉える。</p> <p>○東京と世界との結び付きについて考える。【広げ深める】</p> <p>○振り返りシートを記入する。 【まとめあげる】</p>	<p>◎知識・技能②【発言・記述分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。
3	<p>○資料をもとに「東京23区の昼夜間人口」について読み取る。【見いだす】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>東京大都市圏では、どのような結び付きが見られるのだろうか。</p> </div> <p>○都心と郊外が強く結びつくようになった理由を考える。【自分で取り組む】</p> <p>○関東では郊外への観光客の受け入れが進んでいることを捉える。</p> <p>○東京大都市圏で交通機関が果たす役割を考える。【広げ深める】</p> <p>○振り返りシートを記入する。 【まとめあげる】</p>	<p>□主体的に学習に取り組む態度</p> <p>①【記述分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
4	<p>○資料をもとに、工業地域の広がりについて捉える。【見いだす】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>関東地方は、日本各地・世界と産業の面でどのように結び付いているのだろうか。</p> </div> <p>○地図帳を参考に野菜の生産高を調べ、関東地方が野菜生産の盛んな地方であることを捉える。【自分で取り組む】</p> <p>○関東地方で工業や農業が盛んな理由を考える。【広げ深める】</p> <p>○振り返りシートを記入する。 【まとめあげる】</p>	<p>◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>②【記述分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東地方について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	<p>○アンケートをもとに、東日本大震災につ</p>	<p>★クラゲチャート（思考ツール）</p>

	<p>いて、知っていることを共有する。 【見いだす】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">「帰宅難民」をなくすためには？</p> <p>○東京や関東地方がさまざまな地域と結び付きが強く、多くの人が集まっている原因についてこれまでのワークシート・振り返りシートを参考に、クラゲチャート（思考ツール）にまとめる。 【自分で取り組む】</p> <p>○東日本大震災で多くの「帰宅難民」が発生した理由を考える。</p> <p>○「帰宅難民」をなくすための解決策を考える。【広げ深める】</p> <p>○振り返りシートを記入する。 【まとめあげる】</p>	<p>を用いて、多面的に考察することや、整理・分析して、課題に対しての考えをまとめ・表現している。 【情報活用能力】</p> <p>★関東地方の学習を振り返り、「帰宅難民」の課題について追究している。 【問題発見・解決能力】</p> <p>◎思考・判断・表現①【記述分析】 ・関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
<p style="text-align: center;">総 2</p>	<p>★災害時に自分が置かれる状況を想定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【総合的な学習の時間】</p> <p>○社会科での学習を振り返る。【見いだす】</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">大地震発生。あなたは どうする？</p> <p>○家族が「帰宅難民」になった際、想定されることを考える。【自分で取り組む】</p> <p>○家族が「帰宅難民」になった際、どのように行動すれば良いのかを考える。 【広げ深める】</p> <p>○個人の発表を聞いて、学習について振り返り、まとめる。【まとめあげる】</p>	<p>★キャンディ・チャート（思考ツール）を用いて、「もし～なら」という仮定・条件にもとづいて結果を予測し、その根拠を明確にして、課題に対しての考えをまとめ・表現している。 【情報活用能力】</p>
<p style="text-align: center;">総 3</p>	<p>★社会科の関東地方の学習を踏まえて実社会につながる新たな問いを発見し、個人で追究する。【総合的な学習の時間】</p>	<p>★自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【情報活用能力】</p> <p>★見方・考え方を働かせ、学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用する</p>

	<p>○個人で実社会につながる新たな問いを追究する。【見いだす】【自分で取り組む】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>関東地方の実社会につながる 新たな問いを追究しよう！</p> </div> <p>○新たな問いについて追究したことを全体に発表する。【広げ深める】</p> <p>○個人の発表を聞いて、学習について振り返り、まとめる。【まとめあげる】</p>	<p>ことなど、諸課題を追究・解決している。</p> <p style="text-align: center;">【問題発見・解決能力】</p>
--	--	---

5 実践

(1) 目指す生徒の姿

・学習の基盤となる資質・能力育成について

ア 問題発見・解決能力の育成①（第5時）

(ア) 生徒を見取る際の主なポイント

- 交通・通信を中核とする考察の仕方を基に学んできた関東地方の地域的特色やそこで生ずる課題を図にまとめて振り返り、理解している。
- 関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を生かして「帰宅難民が生まれる理由」や「帰宅難民をなくすための方法」という形で表現している。

(イ) 指導と評価の実際

① 第5時の授業の概要

東日本大震災では、震災の影響で交通機関が不通となったために「帰宅難民」が発生した。内閣府は1都4県（東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城）で515万人が当日のうちに帰宅できなかったと推計している。これは東京を中心に交通網が発達し、さまざまな地域との結び付きが強く、多くの人々が集まっているからであろう。本校は東京大都市圏内に位置していることから、単元を貫く学習課題「関東地方には、なぜほかの地域との強い結び付きが見られるのだろうか」の発展的な学習として、「帰宅難民が生まれる理由」や「帰宅難民をなくすための方法」について考えた。

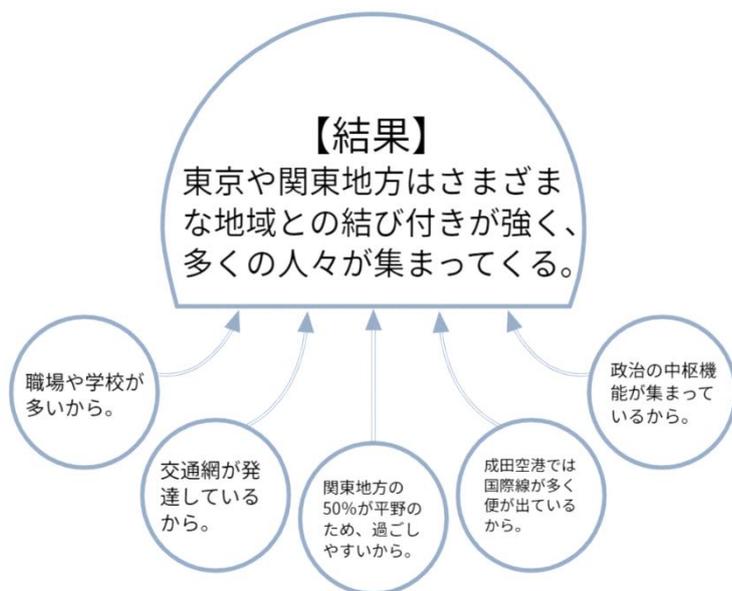
② 実際の生徒の姿

○ 「おおむね満足できる」状況と評価した例

関東地方の地域的特色やそこで生ずる課題を図にまとめて振り返り、理解している。また、関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由を、多面的・多角的に考察し、「帰宅難民が生まれる理由」や「帰宅難民をなくすための方法」という形で表現している。

○ 「十分満足できる」状況と評価した例

【クラゲチャート】



【帰宅難民が生まれる理由】

1班

郊外から交通網を使って都心部に
来る人が多く、交通網が使いな
くなり、帰ることが難しくなっ
てしまったから。

【帰宅難民をなくすための方法】

5班

会社を都内から幅広く分散させる。
(リモートワーク等)

7班

都市機能を分散させる。
(幕張新都心など)

【振り返り】

帰宅難民の対策案を考えたが、企
業を分散させるのが一番だと思っ
た。案として、リモートワーク等
が挙げられたが、どうしても仕事
に支障が出てしまいそうだから、
それについても考える必要がある
と思った。

関東地方の地域的特色やそこで生ずる課題を図にまとめて振り返り、十分理解している。また、関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由を、多面的・多角的に考察し、「帰宅難民が生まれる理由」や「帰宅難民をなくすための方法」という形で十分表現している。

○ 「努力を要する」状況と評価した例

関東地方の地域的特色やそこで生ずる課題を図にまとめて振り返っているが、理解が不足している。また、関東地方で他の地域と強い結び付きが見られる理由を、多面的・多角的に考察し、「帰宅難民が生まれる理由」や「帰宅難民をなくすための方法」という形で表現しきれていない。

イ 情報活用能力の育成（総合第3時）

（ア）生徒を見取る際の主なポイント

- タブレット端末を活用しながら、必要な情報を収集、整理、分析、表現している。
- 情報を多面的・多角的に捉えたり、複数の情報を基に自分の考えを深めたりしている。

（イ）指導と評価の実際

① 総合第3時の授業の概要

SDGs の目標と関連させて考えた関東地方の実社会につながる新たな問いを追究することで、実社会とのつながりを尊重する態度を養うことを目指した（前年度はアジア州の学習を振り返り、各自が設定した「実社会につながる新たな問い」を追究した）。問いを設定する際に生徒は SDGs の目標との関連や人・もの・こ

と・社会・自然とのつながりを意識した。タブレット端末や書籍を活用し、調べていく中で、インターネットや書籍の情報を丸写しにせずまとめることや「私の考え」「感想」（振り返り）を書かせることで、自らが実社会の課題について考えることを大切にした。また、調べる際に使った資料をプリントの裏に「参考文献一覧」として記載するようにした。なお、授業の作成にあたっては JICA のホームページに掲載されている内容を参照した。

② 実際の生徒の姿

○ 「十分満足できる」状況と評価した例（視覚情報・資料の扱い）

【本年度の実践】

【前年度の実践】

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する
視覚情報・資料の扱い	視覚的な情報や資料を効果的に扱っており、伝えたい内容をわかりやすく提示している。	視覚的な情報や資料を伝えたい内容をわかりやすく提示している。	視覚的な情報や資料を効果的に扱っていない。
プレゼンテーション全体の構成	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立った順序で話している。	プレゼンテーション全体を通して、ある程度筋道の立った順序で話している。	プレゼンテーション全体を通して、筋道の立っていない順序で話している。
発表の態度	発表態度がプレゼンテーションの内容を説得的にしており、自信をもって伝えている。	発表態度がプレゼンテーションの内容をある程度説得的にしている。	プレゼンテーションが伝わりづらい。

・ 現代的な諸課題に対応して求められる内容について（総合第1時）

生徒自身が追究する SDGs のゴールを設定し、それに基づき、関東地方の旅行計画を作成した。生徒の発表を聞くと、ワクワクする歴史ツアーを企画

し、さらに戦争や平和についても考えることができたとのことであった。また、その他の生徒のツアーとしては SDGs 17 の目標の「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさも守ろう」をゴールに設定し、九十九里浜やチバニアン等に触れ「千葉ふるさとの魅力発見ツアー」等の発表も見られた。



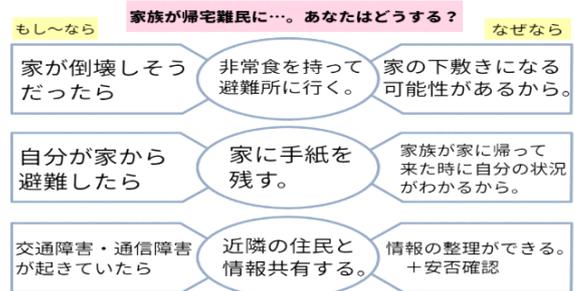
・ 現代的な諸課題に対応して求められる内容について（総合第2時）

社会科での学習内容も踏まえて「大地震発生。あなたはどうする？」という学習課題を設定し、下に記した「想定した内容」以外に、各家庭の状況に応じて、「どのようなことが想定されるのか」「どのように行動すればよいのか」を考えさせた。事前に家族と話し合いをしておく等の準備の必要性を多くの生徒が感じたようである。また、自ら考え、判断し、行動していけるような振り返りをする生徒が多く見られた。

【想定した内容】

- ・ 地震発生日時 : 春休みの平日 13時
- ・ 震度 : 7
- ・ 保護者 : 帰宅難民になっている。
- ・ 兄弟姉妹 : 出かけている。
(家にいるのは自分だけ)
- ・ 自分の家 : 倒壊のおそれがある。
- ・ 電気・水道・ガス : 使えない。
- ・ 交通障害・通信障害 : 起きている。

【キャンディ・チャート】



【生徒の振り返り】

実際に災害が起こった際にどうすればいいかを考えることができた。何かあった時のために家族で避難場所を決めようと思った。何かあった時にどうするかを考えることで実際に災害が起こった時にスムーズに動けると思う。

大地震で家が倒壊した場合や窓が割れた場合など色々な場面を想定して最悪な事態を考えられたので本当に大地震が来たときに対応できたらいいなと思いました。スマホが使えないのは結構辛いと思うのでそういった時にも焦らず行動したいです。

もし家族が帰宅難民になって家に自分一人だったら近くの住民同士で安否確認をしたほうが良いことがわかった。特に自分の住んでいるマンションは高齢者の人もたくさんいるから必要だと思う。普段からコミュニケーションをしっかりとって頼れる人を増やしておきたい。

(2) 実践を終えて

1 学習の基盤となる資質・能力育成について

- ・情報活用能力の育成

本実践では、情報活用の実践力を重視し、1人1台端末を積極的に活用した。特に、まとめ・表現の学習過程で、分かったことや考えたことを分かりやすく伝えることができる力の育成を目指し、1人1台端末の思考ツールを用いて、生徒が頭の中で考えていることを書き出し、整理することや共有機能を使うことで他者の考えを知り、自分自身の中で対話が生まれ、考えを深めることができた。

- ・問題発見・解決能力の育成

本実践では、学習の過程や成果を振り返り学んだことを活用するなど、諸課題を追究・解決する場面を多く設定した。また、単元を通して学習課題を設定したことで、生徒は見通しをもち、自らの学習状況を把握し、課題解決に向けて主体的に取り組むことができた。そして、実社会につながる新たな問いを生徒自身が設定することで、人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもつことができた。

※（現代的な諸課題に対応して求められる内容について）

- ・主権者として求められる力

本単元では生徒自身が実社会や実生活の中から問いを見だし、課題を立て、追究・解決することを目指した。単元の中で自ら考え、判断し、行動につながる課題を設定し、生徒たちは自分事として捉え、主体的に社会参画することの意義や価値を理解することができた。意義や価値の理解だけにとどまることなく、今後は生徒たちが地域の一員として活躍できるように、日頃から行動に移せるような指導を行っていく。

2 教科等横断的な視点に立った評価について

本実践では単元で育てたい力や教科等横断的な視点に立った育てたい力の評価規準を設定し、社会科や総合的な学習の時間の単元計画に位置付けた。教員が事前に評価規準を設定し、示すことで、生徒は各教科等で獲得した知識・技能を活かし、各教科等の見方・考え方を活かしながら思考・判断・表現することができた。中学校では教科担任制のため、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成が難しいと考える。実践を通じて、その他の教科等領域において、学習の基盤となる資質・能力の育成を図るためには、各教科等の年間指導計画に位置付け、学校全体として取り組んでいく必要があると感じた。

今後も学習の基盤となる資質・能力や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を意識して、各教科等での関連性を強くもたせていきながら授業の充実を図りたい。